

シラバス

| |
|---------|
| コース名: |
| コースコード: |

| |
|---|
| 初回登録 (Date - Version No.) : * <u>Sample: 120606-01</u> |
|---|

| 更新履歴 (Date - Version No.) | | | |
|---------------------------|--|----|--|
| 1 | | 16 | |
| 2 | | 17 | |
| 3 | | 18 | |
| 4 | | 19 | |
| 5 | | 20 | |
| 6 | | 21 | |
| 7 | | 22 | |
| 8 | | 23 | |
| 9 | | 24 | |
| 10 | | 25 | |
| 11 | | 26 | |
| 12 | | 27 | |
| 13 | | 28 | |
| 14 | | 29 | |
| 15 | | 30 | |

| |
|----------------------------|
| 最新版 (Date - Version No.) : |
|----------------------------|

コース名

パーソナルスキル（ロジカルシンキング）

学習概要

- ・ロジカルシンキングの概要、基本的な考え方、各種ツールを、講義・事例および演習を通じて理解する。
- ・問題解決の一連の流れと基本的な考え方を理解し、ロジカルシンキングを活用した問題解決をチームで実践する。
- ・コミュニケーションの基本的な考え方を理解し、ロジカルコミュニケーションを実践する。

前提知識・準備学習

特定の知識・準備学習を必要としない。

到達目標

- ・チーム活動を通じた問題解決の重要性を理解する。
- ・チーム活動を通じて、特定の問題に対する基礎的な解決を実践できる。
- ・パーソナルスキル（コミュニケーション能力、ネゴシエーション能力、リーダーシップ）の必要性を理解する。
- ・論理思考力による問題解決の基本的知識を習得する。
- ・問題解決の一部を独力でできる。

課題

- ・個人で取り組む「個人ワーク演習課題」と、チームで取り組む「チーム演習課題」を実施する。
- ・チームは、教員1名に対し最大30名の学生を目安とし、1チーム4～5名程度の複数チーム編成を想定とする。
- ・課題テーマは、いずれも学部学生にとって理解しやすい、身近な事例を取り扱う。
- ・チーム演習では、「カードブレインストーミング」を活用して実施する。

評価方法と評価基準

評価方法：

- ・授業における個人ワーク演習課題とチーム演習課題、およびテスト
- ・授業終了後の受講レポート課題

評価基準：

※評価基準は、別紙ティーチングガイドを参照のうえ開示内容および開示可否を決定してください。

| 授業進行計画 | |
|--------|---|
| 第1回 | テーマ：ロジカルシンキング概要 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの概要を説明できる。 2. ロジカルシンキングの基本となる考え方を説明できる。 3. ロジカルシンキングで使われる主なツールについて説明できる。 4. ロジカルシンキングを活用する際のポイントを説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングの概要（基本となる考え方、主なツール）と活用する際のポイントについて、講義および事例を通じて学習する。</p> |
| 第2回 | テーマ：ロジカルシンキングの基本となる思考 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの基本となる考え方と思考法の概要について説明できる。 2. 帰納法と演繹法の特徴と活用方法を説明できる。 3. MECE の特徴と活用方法を説明できる。 4. ゼロベース思考の特徴と活用方法を説明できる。 5. 仮説思考の特徴と活用方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングの基本的な考え方（帰納法・演繹法・MECE）と思考法（ゼロベース思考・仮説思考）について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第3回 | テーマ：Wh a tツリーの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つである What ツリーの概要を説明できる。 2. What ツリーの特徴と作成方法を説明できる。 3. What ツリーを活用する場면을説明できる。 4. What ツリーの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「Wh a tツリー」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第4回 | テーマ：Wh yツリーの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つである Why ツリーの概要を説明できる 2. Why ツリーの特徴と作成方法を説明できる。 3. Why ツリーを活用する場면을説明できる。 4. Why ツリーの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「Wh yツリー」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第5回 | テーマ：H o wツリーの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つである How ツリーの概要を説明できる。 2. How ツリーの特徴と作成方法を説明できる。 3. How ツリーを活用する場면을説明できる。 4. How ツリーの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「H o wツリー」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |

| 授業進行計画 | |
|--------|--|
| 第6回 | テーマ：ピラミッドストラクチャーの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つであるピラミッドストラクチャーの概要を説明できる。 2. ピラミッドストラクチャーの特徴と作成方法を説明できる。 3. ピラミッドストラクチャーを活用する場面を説明できる。 4. ピラミッドストラクチャーの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「ピラミッドストラクチャー」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第7回 | テーマ：マトリクスの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つであるマトリクスの概要を説明できる。 2. マトリクスの特徴と作成方法を説明できる。 3. マトリクスを活用する場面を説明できる。 4. マトリクスの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「マトリクス」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第8回 | テーマ：プロセスの概要と活用方法 |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングの支援ツールの一つであるプロセスの概要を説明できる。 2. プロセスの特徴と作成方法を説明できる。 3. プロセスを活用する場面を説明できる。 4. プロセスの作成力を向上させるための訓練方法を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>ロジカルシンキングのツールの一つである「プロセス」の考え方と実際の活用方法を、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第9回 | テーマ：問題解決（問題発見） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題解決において、ロジカルシンキングを活用した問題発見の概要を説明できる。 2. 問題解決の一連の流れを説明できる。 3. 問題発見の基本的な流れを説明できる。 4. 問題発見をおこなう際のポイントや留意点を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>問題解決全体の基本的な考え方と解決までの流れ、問題発見の考え方と方法論について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第10回 | テーマ：問題解決（原因分析） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題解決において、ロジカルシンキングを活用した原因分析の概要を説明できる。 2. 原因分析の基本的な流れを説明できる。 3. 原因分析をおこなう際のポイントや留意点を説明できる。 |
| | 授業内容： <p>問題解決時における原因分析の考え方と方法論について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |

| 授業進行計画 | |
|--------|--|
| 第 11 回 | テーマ：問題解決（解決手段検討） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題解決において、ロジカルシンキングを活用した解決手段検討の概要を説明できる。 2. 解決手段検討の基本的な流れを説明できる。 3. 解決手段の検討をおこなう際のポイントや留意点を説明できる。 授業内容： <p>問題解決時における解決手段検討の考え方と方法論について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第 12 回 | テーマ：問題解決の実践（総合演習） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングのツールを活用して、問題解決（問題発見、原因分析、解決手段の検討）をおこなうことができる。 授業内容： <p>問題解決の一連の流れ（問題発見、原因分析、解決手段の検討）を、チーム演習によって学習する。</p> |
| 第 13 回 | テーマ：コミュニケーション（説明/説得） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングを活用したコミュニケーション（説明・説得）の概要を説明できる。 2. 説明・説得時に使われるホールパート法の特徴について説明できる。 3. 説明・説得時に使われる PREP 法の特徴について説明できる。 授業内容： <p>対話によるコミュニケーションをおこなう際のロジカルシンキングの必要性と具体的な活用方法（ホールパート法、PREP 法）について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第 14 回 | テーマ：コミュニケーション（文書作成） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングを活用したコミュニケーション（文書）の概要を説明できる。 2. 文書作成時に使われるピラミッドストラクチャーの特徴について説明できる。 3. 説明・説得時に使われる PREP 法の特徴について説明できる。 授業内容： <p>文書によるコミュニケーションをおこなう際のロジカルシンキングの必要性と具体的な活用方法（ピラミッドストラクチャー）について、講義・事例および演習を通じて学習する。</p> |
| 第 15 回 | テーマ：コミュニケーションの実践（総合演習） |
| | 授業目標： <ol style="list-style-type: none"> 1. ロジカルシンキングのツールを活用して、コミュニケーション（文書作成、説明・説得）をおこなうことができる。 授業内容： <p>対話および文書によるコミュニケーションを、チーム演習によって学習する。</p> |

教科書・教材等

パーソナルスキル（ロジカルシンキング）【 テキスト、演習課題、演習課題解答例 】

参考文献

- ・「ロジカル・シンキング入門」（日本経済新聞社・茂木秀昭著）
- ・「ロジカル・シンキング — 論理的な思考と構成のスキル」（東洋経済新報社・照屋華子／岡田恵子著）
- ・「考える技術・書く技術—問題解決力を伸ばすピラミッド原則」（ダイヤモンド社・バーバラミンツ著）

備考